

①市内食品企業が不織布製白衣およびギャザーキャップを感染症指定医療機関に寄付【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは予防健診課 長崎＝092-942-1151）

市内企業「ハウス食品(株)福岡工場」から、不織布製白衣及びギャザーキャップの寄付の申し出があり、「独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター」に対する寄付物資の受け渡しを行います。



②新型コロナウイルス対策の取り組みについて【P2】



※それぞれの取り組みについて説明します。

③人権の花の種が3年ぶりに子孫を増やして里帰り【P3】

【小野小学校】（問い合わせは小野小学校教頭 三浦＝092-946-2331）

人権教育の一環として取り組む「人権の花運動」で飛ばしたひまわりの種が愛媛県松山市まで届きました。拾った人が毎年種をまいてひまわりを育て、3年目の今年、その種に手紙を添えて送り返してくれました

【お知らせ】

①支援を必要とする高校生以下の子どもがいる世帯に食料支援を行います【P4】

【子どもファースト koga】（問い合わせは 加藤＝090-7981-6302）

日頃からフードバンク福岡と連携し、中高生の居場所での食の提供などを実施している市民団体「子どもファースト koga」が高校生以下の子どもがいる世帯を対象に食料支援を行います。

日時：4月22日（水）16時～18時 場所：サンコスモ古賀内健診車駐車スペース

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 波多江、吉田＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

市内食品企業が不織布製白衣およびギャザーキャップを 感染症指定医療機関に寄付

「ハウス食品株式会社福岡工場」から、医療機関で使用可能な物資（不織布製白衣及びギャザーキャップ）の寄付の申し出があり、「独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター」に対する寄付物資の受け渡しを行います。

この物資は、本来は工場内で外部からの来場者に着用してもらうためのものですが、現在は新型コロナウイルス感染症対策として、工場見学等の外部からの来場の受付を中止していることから、ご厚意で物資の有効活用のための申し出をいただいたものです。

医療現場において物資の不足が深刻化する中で、本市立地の代表的な企業の一つである「ハウス食品株式会社福岡工場」からの善意の申し出が、感染症指定医療機関で、地域医療の拠点病院である「福岡東医療センター」の支援につながった大変心温まる事例であり、この物資について、下記のとおり受け渡しを行うこととしました。

■寄付物資の受け渡しについて

日時：4月20日（月）14：00～

場所：古賀市役所 第2庁舎5階会議室

寄付物資

- | | |
|-----------|------|
| ・不織布製白衣 | 134着 |
| ・ギャザーキャップ | 900着 |



工場見学時に田辺市長も着用しました

■寄付物資の受け渡しに関する経緯

4月初旬に、「福岡東医療センター」の中根院長からマスクやガウンなどが不足している医療現場の窮状をお聞きしていたところ、4月16日に「ハウス食品株式会社福岡工場」より、本市に物資の寄付について申し出があり、「福岡東医療センター」に対して、対象の物資の使用可否や不足状況などを確認したところ、「医療物資がなかなか手に入らない状況でありがたく頂戴したい」との回答があり、市役所庁舎にて受け渡しを行うこととなりました。

■（参考）これまで市物資等の支援をいただいた企業

- ・（株）あおやぎ 古賀会館【古賀市駅東2丁目8-25】
手指消毒用アルコール 1リットル×4本
- ・（有）佐々木自動車工業【古賀市薦野1559-1】
消毒液 20リットル×2個 10リットル×3個
マスク 30,000枚（4月下旬寄付予定）
- ・（株）昭和テックス【古賀市薬王寺1743-4】
消毒液 20リットル×20個 噴霧器×20個

【問い合わせ先】

古賀市役所 保健福祉部 予防健診課

担当：長崎 電話：092-942-1151

新型コロナウイルス対策の市の主な取り組みについて

- ①古賀市小規模事業者緊急支援金の給付 4月16日投げ込み
(問：商工政策課 西村 電話：942-1176)
対象：市内に主たる事業所、店舗等を有し、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月
または4月の売上が前年同月比で50%以上減少している小規模事業者
対象数：約1000事業者
支給額：1事業者あたり10万円
申請方法：原則郵送で受付（必要書類等は検討中）
- ②妊娠中の市役所職員の在宅勤務について 4月13日投げ込み
(問：人事秘書課 石丸 電話：942-1121)
期間：4月14日（火）～5月6日（水・祝）
対象：7名
併せて、市内の事業者にも、子育て中の従業員の方々がテレワークをはじめ在宅勤務や休みを
取りやすくなるよう、職場環境の整備について配慮を依頼する文書を発信しています。
(問：商工政策課 西村 942-1176)
- ③市内飲食店 応援プロジェクト「#古賀エール飯」 4月10日投げ込み
(問：商工政策課 西村 電話：942-1176)
内容：市民⇒テイクアウトやデリバリーした市内飲食店の商品を撮影し「#古賀エール飯」
をつけて SNS に投稿
飲食店⇒テイクアウトやデリバリー商品を撮影し、エントリーシートとともに市へ
提出
※4月19日時点の飲食店の応募数は7件
- ④新1年生入学記念イベント「みんなの笑顔でサクラサクプロジェクト」 4月9日投げ込み
(問：経営戦略課 久保 942-1113)
内容：新1年生の写真を募集し、花びらに見立てて各教室に桜の木を作る。
締切：4月22日まで ※4月19日時点の希望者数174人
- ⑤保育所・幼稚園・学童保育所等の臨時休所及び自学・自習教室等の縮小開設
4月12日投げ込み
市内の「認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所・私立幼稚園・届出保育施設」及び
「市内学童保育所」は臨時休園・休所とし、既に臨時休校に伴うセーフティネットとして開
設している「自学・自習教室」「小学1年生特別自習教室」については縮小しつつ開設中。
※ただし、保護者が医療従事者や社会の機能を維持するために就業継続が必要な場合や、ひ
と親などで仕事を休むことが困難な場合については、預かり、受け入れを継続

人権の花の種が、3年ぶりに子孫を増やして里帰り

～人権の花運動が広げたつながりの輪～

突然、学校へ届いた小さな小包。なんと、小包の中には、一通のお手紙とひまわりの種が……。2017年11月に、小野小学校から子どもが飛ばしたひまわりの一粒の種が、愛媛県まで飛んでいき、美しい花を咲かせ、種の子孫を増やし続けて里帰りを行いました。今年は、里帰りした種を蒔き、育てて大輪の美しい花を咲かせたいものです。

■内容

4月15日（水）の定時退校時刻間際に、愛媛県松山市から小荷物が届きました。何だろうと小荷物の封を開けると、一通のお手紙とともに「ひまわりの種」が入っていました。なんと、お手紙は、2017年に、当時の3年生（現在6年生）が、風船にお手紙と子どもたちが育てたひまわりの種を添えて飛ばした際、はるか四国の山奥の中で、拾ってくださった柳澤さんからでした。

お手紙には、「その時、回収したひまわりの種一粒を蒔いて、2018年の秋には種がとれ、とれた種を2019年にも蒔いて2年連続で種をとることができたこと。」そして、「その種を飛来した近くの久万高原町内の小学校4校でも育てていただき、その学校でも種がとれたので“今年2020年も育てます”と、うれしい知らせがきたこと等が、書かれてありました。まさに、「人権の花運動」の輪が広がったといえるのではないのでしょうか。さらに、柳澤さんにとって「昨年の夏、咲いた花を見ていると“小野小学校に帰りたい。”と、ひまわりがつぶやいているように見えた」ということから、2018年、2019年にとれたひまわりの種を送ってくださったのです。


小野小学校から子どもが飛ばした一粒の種が、愛媛県まで飛んでいって美しい花を咲かせ、種の子孫を増やし続けて里帰りをしたのです。ひまわりの種が育んだすてきで奇跡的な出会いに、職員室にいた職員たちも感動の渦に包まれました。

お手紙の最後には、「風船ひまわりブログのQRコード」が付けられ、スマートフォンで早速開いてみました。ハイテクを駆使して、丁寧にひまわりの成長の様子がまとめられていて、さらに感動を呼びました。

新型コロナウイルスの影響で、暗いニュースばかりの中、とても心温まるお便りが運ばれ、心が和んだ一時となりました。早く、現6年生に伝えたいものです。今年は、里帰りした種を蒔き、育てて大輪の美しい花を咲かせたいと思います。

【問い合わせ先】

古賀市立小野小学校 教頭：三浦 竜一
電話：092-946-2331



緊急子ども支援











フードバンクからの食料支援

子どもファースト koga

この度の新型コロナウイルス感染拡大により、今まで得られていた収入が減ったり、環境が変化のご家庭が増えたり、また、休校措置延長に伴い、給食も中止せざるを得ない状況が続いており、さらに措置解除も不透明な状況下、子ども達の健康状態が懸念される現状があります。わたしたち「子どもファースト koga」は、この度古賀市及び古賀市教育委員会、フードバンク福岡のご協力により、緊急子ども支援として「フードバンクからの食料支援」を実施いたします。

今回は以下の要領で実施いたしますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

-  対象： 高校生以下の子どもと同居している世帯
-  提供場所： サンコスモ古賀内 健診車駐車スペース
-  提供日時： 4月22日(水) 午後4時～6時
4月24日(金) 午後4時～6時
4月28日(火) 午後4時～6時
※準備した分がなくなり次第終了いたします。
-  内容： フードバンク福岡より提供された食品の配付
-  数量： 各世帯 1袋(三日間を通して)
-  配付方法： ドライブスルー方式(降車せずお受取り下さい)
徒歩・自転車の方は、間隔をあけて並んで下さい。
-  お願い： マスク着用をお願いします。受け取った後は指示に従って速やかにご帰宅ください。
*場内での事故・トラブルなどについては責任を負いかねます。
-  問い合わせ先： 子どもファースト koga 加藤 090-7981-6302
-  主催： 子どもファースト koga 

後援 古賀市 古賀市教育委員会
協力 フードバンク福岡